

# 松江ウインター スクールで 松江市児童が 大町町に来町

12月7日(土)  
8日(日)



大町町と姉妹都市提携を結ぶ松江市との交流イベント「松江ウインタースクール」は、次世代へとつながる友好関係を築くことを目的としています。

12月7日(土)

松江市から小学生児童20名が大町町に来町。令和6年11月に開催された「オータムスクール」で松江市を訪れた大町町内の小学生たちと再会しました。

午前は、歴史民俗資料館を見学した後、五条川の桜の間伐材を利用したスト



ラップづくりで児童間交流をおこないました。笑顔があふれる時間となりました。

昼食会では、名古屋名物のどて煮やエビフライが入ったお弁当が振る舞われ、大町職員有志による赤みその味噌汁やみそ田楽も提供されました。

児童たちは「どれも美味しい!」と感激しながら、地元の味を堪能しました。



午後は、堀尾氏ゆかりの堀尾跡公園を地元ガイドの説明を聞きながら散策しました。歴史に触れることで、児童たちは大町町の文化や伝統について理解を深めました。



その後、町内にある東久株式会社  
の工場見学を実施。工場内の見学を通じて、最先端のものづくり技術に触れる貴重な体験となりました。



12月8日(日)

2日目は、松江市児童が犬山城や名古屋港水族館を訪問しました。  
犬山城では、城の歴史や建築の魅力について学び、名古屋港水族館では海洋生物との触れ合いを楽しみました。

今回の「松江ウインタースクール」は、児童たちが互いの文化や生活を深く理解し、友情を育む大切な機会となりました。この経験が未来の姉妹都市交流につながることを願っています。